

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等					
<b>基本目標6 子どもの権利と安全を守るまちづくり</b>												
<b>1章 子どもの権利擁護の推進</b>												
<b>1節 児童虐待防止への取り組み</b>												
61101 子どもの権利擁護推進の啓発	継続	子どもに関する事業数 28件 (14件※)	15件	15件	14件	6件	いじめ、虐待などで悩む子どもの相談窓口として法務局が取り組む「子どもの人権110番」について、連携して市政ニュースやホームページなどでも広報した。	○	各課からの報告により、基本計画における「今後の取組」に即した事業を行っている事を確認した。	1,526,251		人権平和推進課
61102 養育支援ネット	継続	把握件数 169件	228件	278件	271件	314件	昨年度に引き続き、関係者が集まる会議で実績等報告し、事業の周知徹底をはかる。	◎	事業当初と比べて、件数が伸びている。	0	継続	健康増進課
61103 家庭児童相談事業 【重点】	拡充	相談件数 915件	1,435件	1,490件	1,444件	1,550件	組織的には変動無し	○	組織の拡充は行わなかったが相談件数は若干増加していることから相談需要には応えていると判断するもの。	20,604	相談業務につき、関係各課・情報システム課と連携し必要データの収集などの面で効率化を図る。	児童・母子支援課
61104 要保護児童対策協議会 【重点】	継続	ケース検討会議 63回	(代表者)1回 (実務担当者)1回 (ケース)121回 (講演会)1回	(代表者)1回 (実務担当者)2回 (ケース)99回 (講演会)1回	(代表者)1回 (実務担当者)4回 (ケース)91回 (講演会)1回	(代表者)1回 (実務担当者)4回 (ケース)120回 (講演会)1回		○	例年通り代表者会議・実務担当者会議・研修会等を実施した。	13	関係各課・関係機関との連携を更に強化し、事務局として要保護児童に係る情報等の収集力を強化し、可能な範囲で協議会メンバーでの情報共有を目指す。	児童・母子支援課
61105 人権関連学習事業	継続	参加人数 延1,876人	講座数38回 参加人数延1,585人	36回 延1,822人	38回 延1,820人	18回 延1,056人	人権学習のきっかけとなるよう、身近なテーマを取り上げ、一般市民が参加しやすいようなテーマ選びをした。	○	H25年度から秋の講座がなくなり、講座数は減ったが、PTA以外の参加者も有り、アンケートによる満足度も高い。	653	今後とも一般参加者にも参加してもらいやすいテーマを取り上げ、人権学習の重要性の理解を広げる。	中央公民館
<b>2節 ひとり親家庭等への支援</b>												
61201 母子家庭等医療費助成	継続	受給者数 8,333人	5,925人	5,123人	5,146人	5,080人		◎	資格要件において、市単独事業を継続することができたため。	178,809	引き続き市単独事業の継続を図る。	医療年金課
61202 高等職業訓練促進給付金事業	継続	支給件数 8件	29件	30件	30件	17件		◎	事業を実施している。	18,606	支給期間が上限2年間のため、支給対象期間外の修学中の生活に関する相談支援が必要である。	児童・母子支援課

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
61203 児童扶養手当 【重点】	見直し・改善	受給資格者数 3,218人	3,434人	3,444人	3,509人	3,514人	平成25年10月より41,430円～9,780円→41,140円～9,710円に支給月額が変更	○	1,495,927	平成22年8月より以前に、すでに父子家庭であった未申請者の把握や、効果的な広報。平成26年度中に予定されている、台帳画面オープン化開発業務並びに受給対象者の拡大作業の対応。	子育て手当課
61204 自立支援教育訓練給付金 【重点】	継続	支給件数 14件	13件	7件	9件	9件		◎	145	取得資格によって就労状況に差があるため、就労に向けて他事業の活用など更なる支援をすすめる必要がある。	児童・母子支援課
61205 婦人保護事業	継続	相談件数 1,013件	807件	802件	625件	821件		◎	6,933	DV相談について西宮市配偶者暴力支援センターと連携をさらに強化していく必要がある。	児童・母子支援課
61206 母子家庭等就労・自立支援センターの設置 【重点】	継続	—	—	—	—	—		×	0	「福祉から就労」支援事業などで実施されている事業もあり、他事業でカバーできないものについて、母子福祉センターとの兼ね合いを含め設置場所等を検討していく必要がある。	児童・母子支援課
61207 母子寡婦福祉資金貸付	継続	貸付件数 8件	12件	11件	7件	4件		◎	1,825	母子寡婦福祉資金は償還金を元に貸付を行っているが、経済基盤の脆弱な家庭に貸し付けているので、適切な償還指導が必要である。	児童・母子支援課
61208 母子生活支援施設	拡充	入所世帯数 延222件	延178件	延144件	延64件	延68件		◎	48,562	施設の老朽化、耐震化に対応するため、平成28年度に新施設を建てる予定である。	児童・母子支援課
61209 母子相談 【重点】	継続	相談件数 2,604件	2,325件	2,043件	2,069件	1767件		○	7,193	母子家庭の相談は多様化・複雑化しており、関係機関との連携の強化、及び支援策等の情報収集が必要である。	児童・母子支援課
61210 母子福祉センター	継続	相談件数 359件	948件	1,047件	1,246件	712件	指定管理者が行う業務と母子団体が行う業務を分けて整理した。	◎	5,156	指定管理者と母子団体の業務を分離したが、これまでと同等以上のサービスを提供できるよう指導し連携を強化していく必要がある。	児童・母子支援課

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)				H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価		決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		H25年度	H25年度			
61211 女性対象の相談業務	継続	相談件数 1,098件	1,195件	1,420件	1,404件	1,434件	23年度から電話相談を業務委託している。24年度同様、25年度についても、ほぼ前年並みの件数である。	○	相談枠は、ほぼ埋まっている状態である。	3,469	相談枠がほぼ埋まっているため、新規相談及び次回相談の予約が、約1ヶ月先になることもしばしばである。急なキャンセルも出るため、空いた枠の有効活用を図る。	男女共同参画推進課
61212 シングルマザー等への講座	継続	講座開催数 1講座	2講座	4講座	4講座	1講座	やむを得ず離婚に至った場合のダメージの軽減を目的に離婚時の心の整理、法律解釈、調停制度等について学習し、離婚後の再出発を支援する講座を開催した。	○	連続講座であったが、受講者数もさほど減ることなく、概ね好評であった。	99	年々、離婚に関する講座は申込が増えている。法律相談に行き着く前の人も多く、講座受講後の情報提供や母子自立支援員との連携にも努める。	男女共同参画推進課
<b>3節 障害児施策の充実</b>												
61301 障害者医療費助成	継続	受給者数 5,130人	5,459人	5,516人	5,608人	5,683人		◎	資格要件において、市単独事業を継続することができたため。	715,135	引き続き市単独事業の継続を図る。	医療年金課
61302 発達障害のある児童への支援	拡充	実施児童館数 3箇所	11箇所 (移動児童館2箇所を含む)	9箇所 (移動児童館2箇所を含む)	3箇所	3箇所		○	従来より実施できている館において、継続できているため。	— (児童館・児童センターに含)	引き続き、現在実施している館で継続していく。	子育て総合センター
61303 留守家庭児童育成センターにおける障害児の受け入れ	継続	受入れ児童数 77人	71人	71人	73人	84人	H19年度より段階的に高学年障害児童の受け入れを行い、H21年度に完全実施、H25年度も継続中	◎	小学校全学年の障害児童受け入れを実施しているため。	— (育成センター設置運営に含)	特に無し	児童・母子支援課
61304 特別児童扶養手当	継続	受給資格者数 684人	738人	733人	776人	800人	平成25年10月より 重度:50,400円→50,050円 中度:33,570円→33,330円 支給月額が変更	○	現在の受給資格者に対する執行状況に特段の問題なし。	—	未請求者の予防台帳画面オープン化開発業務への対応	子育て手当課
61305 移動支援事業	継続	利用者数 920人	937人	963人	1,018人	1,027人		○	適切な支援を提供できていると考えているが、対象範囲の拡大の要望	39,234		障害福祉課(生活支援課)
61306 北山学園	継続	通園児童数 30人	33人/月	30人/月	33人/月	33人/月	・屋上防水工事を実施し、良好な療育環境の充実を図った。 ・耐震診断を実施し、耐震補強工事が不要ないことが判定された。	○	適切な支援を提供できている。	41,379	老朽化した設備等の改修を進め、引き続き、利用者にとって安心安全な療育環境の整備が必要である。	障害福祉課
61307 緊急一時支援事業	継続	利用回数 1,798回	2,166日	1,874日	1,480日	1,538日	2事業所あったもののうち、25年度末に1事業所が他事業へ移行したため、緊急一時支援事業を実施しているのが1事業所となった。	○	適切な支援を提供できている。	4,737	残り1事業所について新体系への移行の可能性を検討しながら事業を継続していく。	障害福祉課(生活支援課)

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等					
61308 サポートファイル (みやっこファイル) 【重点】	継続	—	作成部数 4,000部	4,000冊	—	—	H23年度にて一旦整備終了。	○	在庫分を使い必要とする方には配布できている。	— (情報教育の推進を含む)	事業自体は継続中、在庫終了次第、再度印刷の必要があるが、基金事業であったため、次回は市単対応も検討の必要あり。	障害福祉課(生活支援課)
61309 児童デイサービス	事業終了	(H21年度新規事業)	730人	1,712人	(H24年度廃止) 180人 (H24年3月の利用者)	—	—	—	—	—	【廃止の理由】 児童通所支援事業の開始に伴い、児童デーサービスの事業はH23年度で終了した。 ※H24年3月の利用者は、経費処理との関係から統計上はH23年度ではなく、H24年度の実績として処理する。	障害福祉課
61310 障害児ショートステイ	継続	利用日数 (児童のみ) 1,021日	1,278日	1,440日	1,518日	1,343日		◎	適切な支援を提供できている。	22,345		障害福祉課(生活支援課)
61311 障害者相談支援等 (H23年度までは障害者 あんしん相談窓口)	継続	相談支援委託事業者数 7事業者	(相談支援委託) 7事業者	(相談支援委託) 7事業者	(相談支援委託) 7事業者 (個別給付) 3事業者	(委託) 相談支援委託事業者数 4事業者で 基幹相談支援センター の2窓口を運営 (個別給付) 11事業者	平成21年度からは、新規に1箇所と健康増進課所管の相談支援事業者を加え9箇所障害者あんしん相談窓口を実施している。また、同年10月から障害者就労生活支援センターを開設し、障害者あんしん相談窓口は計10箇所となった。平成25年度以降は基幹相談支援センターとして、2箇所窓口を設置し、指定特定・指定障害児相談支援事業所メンバーに加え、個別給付で提供する計画相談支援の普及にも携わっていく。	○	委託の相談支援を担う基幹相談支援センターは、基幹相談支援センターとしての研修機能、OJT機能、地域連携、地域資源開発において、所管課が求めているところに達していないと判断するが、基本相談支援機能、西宮市地域自立支援協議会運営など継続的な部門の役割は十分に果たしている。また、個別給付である計画相談支援を普及させるための特定相談支援事業所等の箇所数が足りておらず、それらの立ち上げをさらに促す必要がある。	82,174	基幹相談支援センターの機能を強化するには、どのような体制がより適切であるかを検討する。そのために、専門家で構成する基幹相談支援センターあり方検討会議(仮称)をたちあげ、その答申を踏まえて、今後の基幹相談支援センターの体制を決める。	障害福祉課(生活支援課)
61312 障害福祉サービスの支給 (介護給付)	継続	利用者数 396人	542人	569人	636人	682人		◎	適切な支援を提供できている。	69,710		障害福祉課(生活支援課)
61313 日中一時支援事業	継続	利用回数 2,237回	1,663回	1,663回	1,484回	1,294回		◎	適切な支援を提供できている。	3,880		障害福祉課(生活支援課)

# 1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)				H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等	評価		決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度				H25年度	行動計画の基本目標に沿って事業を推進する上での問題点	
61314 統合保育の実施	継続	拠点保育所18箇所 その他受入18箇所 加配対象68人	(実施箇所)19箇所 (その他)22箇所 (加配)76人	(実施箇所)16箇所 (その他)22箇所 (加配)74人	(実施箇所)39箇所 (加配)76人	(実施箇所)44箇所 (加配)60人		◎	アウトリーチの充実により、より統合保育が進められた。	818	アウトリーチの継続及び研修や実践研究において統合保育の質の向上を図る。	保育所事業課
61315 療育相談事業	継続	相談件数延2,373件	延3,363件	延3,409件	延3,390件	延3,329件	療育相談事業だけでなく、保育所や幼稚園や学校等との連携を図り、地域支援の充実に努めた。	○	療育相談事業の件数は、ほぼ横ばいであるものの、施設支援の件数は伸びているため。	—	平成26年度より計画相談支援事業が開始となり、事業を軌道にのせていくことが今後の課題。	わかば園事業課
61316 わかば園の運営【重点】	継続	通園療育延3,105件 外来療育延8,757件	(通園)延2,059件 (外来)延11,637件	(通園)延2,983件 (外来)延10,919件	(通園)延3,299件 (外来)延10,916件	(通園)延2,903件 (外来)延13,762件	セラピストの増員及びリハビリ予約センターの設置等を行った。	○	対象児の減員により、通園の件数は減少しているものの、外来の件数は、セラピストの増員及びリハビリ予約センターの設置等により、大幅に増加しているため。	338,575	平成27年度の新センター移行に向けて、ハード面・ソフト面の整備が必要。	わかば園事業課
61317 児童発達支援センター等整備事業	継続	(H23年度新規追加事業)	—	基本構想の策定、パブリックコメント、用地購入、公共事業評価、地質調査等各種調査等の実施	基本計画、基本設計、アドバイザー契約、選定委員会の開催、事前公表、現場説明会等の実施	アドバイザー業務継続、入札広告実施、選定委員会の開催、事業者の選定・契約締結、審査結果公表、地元説明会開催、実施設計着手、埋蔵文化財発掘調査実施	実施設計において、施設従事者と十分なヒアリングを行い、新施設で反映させるよう努めている。地元説明会で求められた安全対策についても十分協議した上で施工計画に反映できるものを検討している。	○	事業の当初どおりのタイムスケジュールでH26年度以降に行うものもあるため。	12,777	新築工事の円滑な施工。インプレスライド等に伴う変更契約の締結。	児童福祉施設整備課
61318 児童発達支援	継続	(H24年度新規追加事業)	—	—	利用日数15,559日	利用日数19,022日		◎	適切な支援を提供できている。	211,559		障害福祉課(生活支援課)
61319 医療型児童発達支援	継続	(H24年度新規追加事業)	—	—	利用日数4,013日	利用日数2,877日		◎	適切な支援を提供できている。	10,628		障害福祉課(生活支援課)
61320 放課後等デイサービス	継続	(H24年度新規追加事業)	—	—	利用日数14,166日	利用日数22,296日		◎	適切な支援を提供できている。	214,535		障害福祉課(生活支援課)
61321 保育所等訪問支援	継続	(H24年度新規追加事業)	—	—	利用日数1日	利用日数82日		◎	適切な支援を提供できている。	855		障害福祉課(生活支援課)